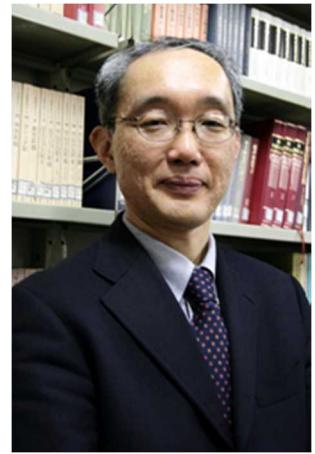


光延 一郎

神学部 神学科 教授 (みつのぶ いちろう)



研究テーマ

神学的人間論：創造と救済・罪と原罪・恩恵・終末・マリア論

主な授業担当科目

神と人間、終末論、キリスト教の人間観と現代社会の諸問題

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

1979/03/31 上智大学哲学科卒業 ■ 1985/03/31 上智大学哲学研究科修了（修士） ■ 1990/03/31 上智大学神学部卒業 ■ 1993/03/31 上智大学神学研究科修了（修士） ■ 2003/11/01 ザンクト・ゲオルゲン哲学・神学大学（ドイツ）研究科修了（神学博士） ■ 職歴：神学研究科委員長（2010）、神学部長（2011～2017）、「神学ダイジェスト」編集長

主な著書・論文等

オットー・ヘルマン・ペッシュの恩恵・義認論における「創造展望」「カトリック研究」71/72号。■『キリスト教と人権』（編著）サンパウロ、2008年。■『神学的人間論入門—神の恵みと人間のまこと』教友社、2010年。■『主の母マリア—カール・ラナーに学ぶカトリックマリア神学』（訳著）教友社、2021年。■『今こそ原発の廃止を—日本のカトリック教会の問いかけ』（編著）カトリック中央協議会、2015年。

所属学会

日本カトリック神学会

教育・研究活動

カトリック司祭・神学研究者として、現代社会に生きる人々の生と死、幸せと苦しみ悲しみを見つめ、その人々にキリスト教信仰の語るまことのいのちの意味を仲介していくことが、自分の課題だと思っています。その際、神学の営みがカトリック教会内だけに通じる特殊言語にならないように、現代の哲学や社会思想との対話を通じて、より広い精神的交流の手だけとなるべきことに留意しています。

社会的活動・海外活動

カトリック中央協議会社会司教委員会神学顧問、正義と平和協議会専門委員、ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会委員

趣味・学生に伝えたいこと

山歩き・氣功（指導員）

人間を、時空の限界（創造と終末）にまで視野を拡げて、見極めよう！